

「せんえつ」と「ぶしつけ」¹

加藤 恵梨

日本語教育講座

“Sen’etsu” and “Bushitsuke”

Eri KATO

Department of Teaching Japanese as a Foreign Language, Aichi University of Education, Kariya 448-8542, Japan

I. はじめに

上級レベルの日本語学習者に、「日本では身の程を知るのが大切だと聞いたが、日本人の会話を聞いてみると、『せんえつながら』『ぶしつけながら』と言って目上の人に意見を言うことがある。それらの言葉の使い方がよく分からない」という質問を受けたことがある。確かに、「せんえつ」と「ぶしつけ」は目上の人に意見を言ったり、お願いをしたりする際に用いられることが多い。しかし、目上の人に意見などを言うときにいつでも「せんえつ」と「ぶしつけ」を使うわけではない。では、両語はどういうときに使うのであろうか。

本稿は、日本語教育における敬語指導に役立つ記述のための基礎研究として、『現代日本語書き言葉均衡コーパス中納言版』（以下、BCCWJとする）を用い、「せんえつ」と「ぶしつけ」の意味および使い方を明らかにすることを旨とするものである。

II. 国語辞典の記述

分析の前に、国語辞典で「せんえつ」と「ぶしつけ」がどのように記述されているのかを確認する。以下では、現代語の意味を詳述している『大辞林 第四版』と『新明解国語辞典 第八版』の記述を取りあげる。

せんえつ

身分や権限などを越えて、差し出がましいことをする・こと（さま）。

「一な言い方」「一のそしり」「一ながら私が…」

（『大辞林 第四版』, p.1537）

身分（分際）を越えて、出過ぎた事をする（様子）。「先輩の前であんな態度をとるのは一のそしりを免れない」

運用「僭越ですが（ながら）」などの形で、おおぜいの前で話をしたり大きな役割を与えられて何

かをするときの謙遜の気持を表わす挨拶の言葉として用いられることがある。例、「ご指名により僭越ながら乾杯の音頭をとらせていただきます」

（『新明解国語辞典 第八版』, p.865）

ぶしつけ

礼儀作法をわきまえていない・こと（さま）。無作法。

「一な態度」「一な質問」「一なお願いですが」

（『大辞林 第四版』, p.2385）

その言動が礼儀やエチケットに反する様子だ。

「多く、人に何かを頼む（問う）ときの前置きとして用いられる」

「一なお願い（質問）で恐縮ですが」

（『新明解国語辞典 第八版』, p.1365）

『大辞林 第四版』と『新明解国語辞典 第八版』の記述に大きな違いはない。まず「せんえつ」については、身分や権限などを越えて、「差し出がましいこと」あるいは「出過ぎた事」をすること（さま）と記述されている。このことから、「せんえつ」は「さしでがましい」と意味が類似していることがわかる。また、『新明解国語辞典 第八版』では運用として、「挨拶の言葉として用いられることがある」と指摘されている。一方の「ぶしつけ」については、「礼儀作法をわきまえていない」、「その言動が礼儀やエチケットに反すること（さま）」とある。さらに、『新明解国語辞典 第八版』では「多く、人に何かを頼む（問う）ときの前置きとして用いられる」と指摘されている。

国語辞典では紙面の都合上、短い例しかあげることができないため、それらの使い方については実例を確認する必要がある。よって、以下では国語辞典の記述をふまえた上で実例を分析し、「せんえつ」と「ぶしつけ」の意味および使い方を記述する。

Ⅲ. 分析

1. 「せんえつ」について

はじめに「せんえつ」について分析する。BCCWJの短単位検索を用いて語彙素読み「センエツ」で検索したところ、43件の検索結果が得られた。その中から、現代日本語の用法とは考えられないもの1件、「YAHOO!知恵袋」で「せんえつ」の意味について質問するのに用いられているもの1件、「せんえつさ」という派生形1件を除く、40件を本稿の考察対象とする。

結論を先取りして述べると、「せんえつ」には二つの意味がある。一つ目は、ある人が自身の力の及ぶ範囲を越え、不要な言動をすること（さま）である。その場合の「力の及ぶ範囲」には、(a) 社会や組織内で占める領域、(b) 専門領域、(c) 私的領域、がある。続いて二つ目は、ある人が公の場や目上の人前でふさわしくない言動をすること（さま）である。以下で、それぞれについて説明する。

(1) 意味1：ある人が自身の力の及ぶ範囲を越え、不要な言動をすること（さま）

(1-a) 社会や組織内で占める領域

まず、ある人が自身の社会や組織内で占める領域を越え、不要な言動をすること（さま）を表す場合について述べる。その多くは次の(1)のように、ある人が社会や組織内で占める領域を越え、身分や地位の高い人の領域に踏み込み、不要な言動をすること（さま）を表すときに使われる。

(1) 当時の首相である鈴木貫太郎は、周囲のだけれども口にできなかった終戦を、命をねらわれながらも、豪胆なまでの勇気と、細心の注意を払いながらし遂げてきました。鈴木貫太郎は、内閣書記官長の迫水久常にこう言ったそうです。いろいろ人が中傷したりして苦しいだろうが、人が何と言おうと、信じたとおりでんどんおやりなさい。僭越ではございますが、この言葉を私は総理にお贈りいたします。そして、選挙のあるなしにとらわれず、常在戦場の民主政治の基本に立って、日本と日本の未来のために、思う存分、渾身の力を込めて改革に取り組んでいただきたいとの願いを申し上げ、私の質問を終わります。

(OM63_00002 国会会議録 第162回国会)

(1) は、ある国会議員が総理大臣に対して「いろいろ人が中傷したりして苦しいだろうが、人が何と言おうと、信じたとおりでんどんおやりなさい」という言葉を贈る際に「僭越ではございますが」と前置きしている。一般的に、目下の人が目上の人に意見を言ったり、アドバイスをしたりすることは、目下の分を越え、目

上の人々の領域に踏み込む不要な行為であり、失礼であると思なされる。このような一般的な考え方を念頭に置きながらも、目上の人に意見などを言う必要があるときには、「せんえつではございますが」と前置きしてから発言することが多い。

また、次の(2)のように、筆者が読者に自身の希望を述べる際にも「せんえつ」が用いられている。

(2) 企業再建がブームようになって、その関係の著作も多く上梓されているが、そうしたものの中にも「企業再建に当たる経営者に不可欠な要素は経営理念である」ということを述べているものがある（当然のことである）。それらを詳説することは本書の目的ではないものの、非常に重要な論点であるし、僭越な申し様ではあるものの、読者諸氏には是非この点に関する認識を深めていただきたいと希望するものである。（PB33_00163 越純一郎『事業再生要諦 志と経営力 日本再生の十年に向けて』商事法務）

(2) では、筆者が読者を目上、自身を目下と位置づけ、読者に自身の希望を述べるのは相手の領域に踏み込む不要な行為であると思ひながらも、必要であると考え、「僭越な申し様ではあるものの」と前置きしてから自身の希望を述べている。

また、ある集団を代表してあいさつをしたり、目上の人のかわりにあいさつをしたりする場合、次の(3)のように「せんえつ」を使うことが慣習化している。

(3) 田中圭は、左右、中央に深々と頭を下げたのち、静かなうちに力強い口調で新年あいさつの言葉をのべはじめた。「まことに僭越ではございますが、理事長になりかわりまして、一言、ご挨拶を申し上げます。（後略）」（OB2X_00217 大下英治『修羅の群れ 長篇ドキュメンタリー・ノベル 首領篇』徳間書店）

(3) も、発話者が社会や組織内で占める領域を越え、本来は自身がすべきではないことをすること（さま）を表している。先ほど見た『新明解国語辞典 第八版』において、「『僭越ですが（ながら）』」などの形で、おおぜいの前で話をしたり大きな役割を与えられて何かをするときの謙遜の気持を表わす挨拶の言葉として用いられることがある」と指摘されていた。(3) は『新明解国語辞典 第八版』の記述に該当する例である。ある人が、自身の社会的地位や身分では大役をおおせつかる立場にないという謙遜の気持ちを示すのに「せんえつ」が使われている。

(1-b) 専門領域

次に、ある人が自身の専門とする（精通している）領域を越え、不要な言動をすること（さま）を表す場合について述べる。その場合次の（4）のように、聞き手／読み手が精通している領域について、精通していない話し手／書き手が不要なことを言う場合に使用されることが多い。

- (4) 「立原道造の詩に、『眠りの誘ひ』という詩があるのをご存知でしょう？おやすみ やさしい顔した娘たちおやすみ（後略）」

髭のオーナーは、押し黙って、僕の朗読を聞いていた。しかし、彼は僕の僭越さをとがめようとはせず。

「円くんのために、ぼくが立原道造の詩集から選んであげよう。『溢れひたす闇に』という詩なんだがね…美しいものになら ほほゑむがよい（後略）」

「僕の今の気分にぴったりです。僭越な真似をして申し訳ありませんでした…」

(LBj9_00229 平井和正『ボヘミアンガラス・ストリート 第9部』アスペクト)

(4) は、立原道造の詩に精通している聞き手（髭のオーナー）に対し、立原の詩にさほど精通していない話し手（円）が立原の詩を長々と披露したことを「僭越な真似をして申し訳ありませんでした」と謝っている。

次の（5）は、話し手／書き手が専門外のことに付いて不要なことを言うこと（さま）を「せんえつ」と表現している。

- (5) 死の定義について、医師でもない立場の人間が私見を述べることは僭越でもあり、また本書の目的ではないので避けるべきと思う。しかし、十分に客観性のある、明確な脳死を前提にした死体臓器移植に道を求めるのが、現段階における最善の方法と私は信じている。

(LBj9_00116 石渡英五『腎臓移植・希望の選択—あるビジネスマンの闘病記録』サイマル出版会)

(5) は、医者ではない筆者が、死の定義について私見を述べるのは不要なことであるということを述べるのに「せんえつ」を用いている。

さらに次のような例も見られる。

- (6) ユダヤ人の私が『日暮硯』について日本人に講義をするのは少々僭越だと思うが、おそらく今では、読んだことのない人の方が多いと思うので、少しく次に紹介しよう。

(PB43_00710 山本七平『日本人とユダヤ人』角川書店)

(6) は、『日暮硯』についてよく知っているであろう日本人に、ユダヤ人である私が講義をすることを「せんえつ」だと言っている。書き手は「せんえつ」を用い、日本人と比べて自身は『日暮硯』に精通していないと、謙遜していると考えられる。

(1-c) 私的領域

さらに、ある人が自身の私的領域を越え、（他の人の私的領域に関して）不要な言動をすること（さま）を表す場合がある。次の（7）は、ある人が他人の生き方について批判めいたことを言うのを「せんえつ」とであると述べている。

- (7) 何のことはない。碁と酒が綱引きしている様なもの。現在は碁が優勢、酒の方が優勢になれば棋士生命終わりと、何とも危っかしい状態にある訳だ。しかしこの微妙なバランスの上にごそ、あるいは人一倍の精神力、集中力の秘密があるやも知れず、秀行の生きざまを傍からとやかくいうことは僭越であるのかも知れなかった。

(LBb7_00011 小西泰三『藤沢秀行』講談社)

(7) は、秀行の「碁と酒が綱引きしている」ような生きざまについて、他人が傍からとやかく言うことを「僭越であるのかも知れなかった」と述べている。(7) では、秀行の生きざまという秀行の私的領域に関して、他人が不要なことを言うこと（さま）を「せんえつ」と表している。

次の（8）も、ある人の境遇について他人が評価することを「せんえつ」とであると言っている。

- (8) 「井上さんも、私も、ともに子育てを終え、両親を見送ることもすませました。多くの同世代の女性が介護に時間や体力を取られているなかで、私たちは、そういう意味では恵まれていると思います。だから、こういう活動も続くのではないのかしら」と、実に恬淡な態度で語ります。われわれ第三者が、二人のことを「恵まれている」などと言ったら僭越です。しかし、確かに、たけださんが語るように、今、それをしていてもできない境遇におかれている人たちが多いことも事実でしょう。

(LBq3_00013 小口達也『自由葬』DANぽ)

(8) は、ある人たち（井上さんとたけださん）が置かれている立場や環境の良し悪しについては、第三者には本当のところはわからないため、第三者がある人たちのことを「恵まれている」などと評価するのは「せ

んえつ」であると述べている。(8)の「せんえつ」においても、ある人が自身の領域を越え、他の人の私的領域に関して不要な言動をすること(さま)を表している。

ここで、「せんえつ」と「さしでがましい」の意味の異同について述べる。「せんえつ」が「ある人が自身の私的領域を越え、(他の人の私的領域に関して)不要な言動をすること(さま)」という意味を表す場合、「さしでがましい」と意味が類似している。なお、「さしでがましい」をBCCWJの長単位検索を用いて語彙素読み「サシデガマシイ」で検索したところ、20件の検索結果が得られた。

「さしでがましい」は次のように使われている。

- (9) 先輩、そろそろ結婚をお考えになったらどうでしょうか。適齢期はとうにすぎていますよ…。仕事が終われば、明けても暮れてもラグビー、ラグビー。ボールと結婚はできませんよ。もし先輩に、今、意中の人がいるんならば、私たちは差し出がましいことはいたしません。もしいらっしゃらないようでしたら、差し出がましいことをさせてください。M商事の秘書課に私の後輩で、青江奈美子さんという女性がいるんです。この女性を絶対に先輩に紹介したいんです。(LBi8_00011 大橋春男『女性から送る手紙の書き方』婦人生活社)

(9)は、先輩が結婚しないことを心配した後輩が、知り合いの女性と先輩を引き合わせようとする自身の言動を「さしでがましい」と表現している。先輩に意中の人がいるか否かを尋ねたり、知り合いの女性を紹介したいと申し出たりすることは、先輩の私的領域に踏み込む行為である。よって、「さしでがましい」も「せんえつ」と同様、ある人が自身の領域を越え、他の人の私的領域に関して不要な言動をするさまを表すことがわかる。

一方で、次の(10)のように「さしでがましい人(野郎)」とは言えるが、「せんえつな人(野郎)」と言うことはできない。

- (10) 「あいつなら気持良く頼まれてくれる。そういうやつだ。ところが、馬琴の奴ときたら、ついにご託まで並べやがった。前からわしの挿絵にどうしろこうしろと口出ししやがって差し出がましい野郎だったが、今度は、恩させがましく前のことまで持ち出しやがった。」(LBp9_00231 塩川治子『北斎の娘』邑書林)

(10)は、話し手の挿絵について口出しする人のことを「差し出がましい野郎」と言っている。このように

「さしでがましい」が人を修飾することができるのは、ある人の言動について表すだけではなく、ある人が相手の私的領域に入って不要な言動をし、相手を困らせるという結果の状態まで表すからであると考えられる。この点で、ある人の言動について表す「せんえつ」と異なっている。

- (2) 意味2: ある人が公の場や目上の人前でふさわしくない言動をすること(さま)

次の(11)は、公の場での自身の発言を「せんえつ」と表現している。

- (11) いろいろ厳しい御指摘がございましたが、それを謙虚に受け止めたいと思います。そして、しっかり対応したいと思います。大変僭越な言い方でございますが、私も就任時と違ひまして、この半年余りBSEの問題についてはかなりの知恵の蓄積もございます。問題意識もございます。

(OM65_00010 国会会議録 第154回国会)

(11)は、国会の場でいろいろと厳しい指摘を受けながらも、自身について「私も就任時と違ひまして、この半年余りBSEの問題についてはかなりの知恵の蓄積もございます」と言うことを「僭越な言い方」と表現している。国会で他の議員から批判を受けている立場であるにも関わらず、自身の良い面を主張するのはその場にふさわしくない行為であるという思いから、「せんえつ」と言っていると考えられる。

また次の(12)は、目上の人前での自身の発言を「せんえつ」と言っている。

- (12) 「男に二言はありませんぞ。そもそもトヨタは御曹司が世界で通用する小型乗用車を作るために作った会社じゃ。それが不幸にして戦争が起きて夢が実現できなかったどころか、労働争議に巻き込まれ、不本意ながら退任に追い込まれた。豊田家の番頭としてのワシの仕事はトヨタを再建することじゃった。僭越ながら再建は完了しました。今のトヨタには小型乗用車を開発する資金面での余裕も生まれた」(LBt5_00007 佐藤正明『ザ・ハウス・オブ・トヨター自動車王豊田一族の百五十年』文藝春秋)

(12)は、番頭である話し手が豊田家の御曹司に、「豊田家の番頭としてのワシの仕事はトヨタを再建することじゃった。僭越ながら再建は完了しました」と言っている。このように、話し手が聞き手にとって喜ばしいことを成し遂げた場合であっても、それについて話すときに「僭越ながら」と前置きをする理由は、目上の人前で

自身の行為を自慢するような発言をするのはふさわしくないという思いがあるからだと考えられる。

さらに次の(13)のように、不特定多数の人に対して「せんえつ」を用いているものもある。

- (13) 本日、僭越ながらコメント欄お休みさせていただきます。(OY05_06728 Yahoo! ブログ)

(13) は、自身のブログのコメント欄を休むことを「せんえつ」と述べている。ここでは、自身のブログの読者を目上、自身を目下と位置づけ、読者も利用するコメント欄を自身の都合で休むというふさわしくない行為をすることを「せんえつ」と表している。

2. 「ぶしつけ」について

次に、「ぶしつけ」について分析する。BCCWJの短単位検索を用いて語彙素読み「ブシツケ」で検索したところ、78件の検索結果が得られた。BCCWJでは、先ほど見た「せんえつ」(40件)よりも「ぶしつけ」のほうが多く使われていることがわかる。

「ぶしつけ」についても結論を先取りして述べると、「ぶしつけ」は、ある人が他の人の都合や迷惑を考えずに言動をすること(さま)を表す。そのような言動の代表的なものとして、(a) 相手を困らせることをする、(b) 手順を踏まず、自分勝手にふるまう、(c) 親しげにふるまう、がある。いずれも礼儀・礼節に関わることである。また、「ぶしつけ」がこのような意味を表すことから、相手の負担を気遣い、相手の都合や迷惑を考えない自身の言動を詫言るときに使うこともある。以下で、それぞれの場合について見ていく。

(a) 相手を困らせることをする

相手を困らせること具体例としては、相手をじっと見つめることや、聞かれて困ることや答えにくいことを聞くことなどがある。

(a-1) じっと見つめる

まず、じっと見つめるという行為に「ぶしつけ」と感じている例を見る。

- (14) 綺麗な口元に僅かに苦笑を浮かべた美幸だったが、突然自分へと向けられている無類な視線の存在を感じて身体を硬くした。絡みつような不快な視線は、ここ数か月のあいだに何度か目黒駅から自宅マンションへの帰り道に感じたものと同質だった。
(LBm9_00216 仙道はるか『高雅にして感傷的なワルツ』講談社)

- (15) 竜太の思いはあちこちに飛ぶ。玄関で金俊明と初めて顔を合わせた時の、姉の美千代の驚いた顔、大きな目が瞬きもしなかった。そのうしろから顔を出した保志が、美千代以上に

驚いた表情で、不類なほどまじまじと、金俊明の頭から足もとまで見上げ見おろした。何れも尋常ではなかった。

(LBi9_00186 三浦綾子『銃口』小学館)

まず(14)では「無類な視線」と「絡みつような不快な視線」が同じような意味で使われていることからわかるように、人から無遠慮にじろじろと見られることを「ぶしつけ」と表現している。同様に(15)は、ある人を頭から足もとまで無遠慮にまじまじと見上げ見おろすという行為を「ぶしつけ」と言っている。また、人の視線に対して「ぶしつけ」であると感じる場合、行為者は見知らぬ人や親しくない人であることが多い。見知らぬ人や親しくない人にじっと見つづけられると、なぜじっと見つづけられるのかわからないため、困ったり不快に感じたりするのだと考えられる。
(a-2) 聞かれて困ることや答えにくいことを聞く

続いて、聞かれて困ることや答えにくいことを聞くことを「ぶしつけ」と感じている例を見る。

- (16) 「ええつ、そりゃ本当かい」と、話に割り込んできたのは隣家からしよっちゅうここへ顔を出す原胤昭だ。三人のうちでは一番若くて小柄な童顔のくせに、いっばしの旦那取りで常に遠慮というものを知らない。「君の叔父さんはたしかまだ五十手前で、隠居する歳でもなかろうに。ねえ、久保田さん、兄上はそれについてどうおっしゃっておいでなの？」と、ぶしつけに訊いてくるが、宗八郎は返事をしない。

(LBd9_00167 松井今朝子『銀座開化事件帖』新潮社)

(16) では、部外者が自身の家族に関して込み入った質問、つまり聞かれて困ることや答えにくいことを聞いてくることを「ぶしつけ」と感じている。

さらに次の(17)のように、公的な場でプライベートに踏み込むような質問をするに「ぶしつけ」と感じている例もある。

- (17) 二千四年暮れに婚約内定を発表した紀宮にしても、これまでの誕生日会見などでは一度も「結婚はしないかもしれない」という可能性については語っていなかった。内定の会見でも、「幼い頃から(結婚すれば)この立場を離れることは心にありましたので」とそれ以外の選択は与えられていなかったことをうかがわせるような発言をしている。さすがに今回は、「お子さまは何人くらい？」といったぶしつけな質問は出なかった。

(LBt3_00136 香山リカ『<雅子さま>はあなたと一緒に泣いている』筑摩書房)

(17) は、皇族の婚約内定会見で、「お子さまは何人くらい?」といった私的な質問をすることを「ぶしつけ」と表現している。公的な場で私的な質問をするのは相手を困らせる行為であるという考えから、「ぶしつけ」と表現していると考えられる。

なお、上の「ぶしつけ」と同様、「せんえつ」もある人の私的領域に関して何らかの言動をすること（さま）を表す場合があると述べた。しかし、ここで「ぶしつけ」が表している私的な質問をするという行為は、「(a) 相手を困らせることをする」ことの一種であり、「せんえつ」のように「ある人が自身の私的領域を越え、(他の人の私的領域に関して) 不要な言動をすること(さま)」を表すのではない。

また次の (18) のように、自身の発言を「ぶしつけ」と言っているものもある。

(18) 「この間は有難うございました」

「僕の方こそ有難うございました」

ホームに立っている僕たちの目の前に電車が入ってきた。僕たちは同じドアから電車に乗り隣同士で席 についた。

「ぶしつけで恐縮ですが、あなたのご両親は健在なのですか?」僕がそう訊いた。

「ええ、健在です。今は千葉で暮らしています。ずいぶん年をとりましたが元気です」

(PB39_00146 浜本龍蔵『火曜日に落ちる雨たちへ』東洋出版)

(18) は、相手の両親が健在であるか否かを尋ねる前に、「ぶしつけで恐縮ですが」と言っている。相手の両親が健在か否かを尋ねることは相手の私的領域に踏み込むだけではなく、両親が健在でない場合には相手は返答に困ることになる。そういったことを考慮し、質問する前に「ぶしつけで恐縮ですが」と前置きをしていると考えられる。

(b) 手順を踏まず、自分勝手にふるまう

続いて、本来踏むべき手順を踏まないで、自分勝手にふるまうこと（さま）を表す場合を見る。その意味に該当する例には、次の (19) のように、あいさつなどの前置きもなく、ある人に聞きたいことや言いたいことを一方的に言う場合がある。

(19) 仕事中であれ、長いコーヒープレークであれ、グラスを傾ける至福のひとつときであれ、容赦なく電話のベルが鳴る。いやいや出ると、いきなり「奥様いらっしゃいますか」と質問されることがよくある。「いません」とにべもな

く答えて持ち場に戻りたいが、あいにく偽証罪に問われそうで、そう断言しかねるときもある。だが、そういうぶしつけな問いにまともに応じることはしない。むろん、ことばの論理的意味はわかる。相手の発言の動機、表現意図がのみこめないからだ。たいてい「失礼ですが、どちら様ですか」あるいは「どのようなご用件でしょうか」などと問い返す。

(LBq8_00020 中村明『日本語のコツ』中央公論新社)

(19) はかかってきた電話に出ると、いきなり「奥様いらっしゃいますか」と質問されることを「ぶしつけな問い」と言っている。筆者は、電話をかけてきたら最初に名を名乗り、用件を告げるべきだと思っているが、そのような手順を踏まず、自身の聞きたいことや言いたいことだけを言うことが「ぶしつけ」なのである。よって、ここでの「ぶしつけ」は、本来踏むべき手順を踏まず、一方的に用件のみを言うこと（さま）を表している。

また、次の (20) のように、自身が本来踏むべき手順を踏まず、自分勝手な行動をしたことを「ぶしつけ」と表現しているものもある。

(20) 男は新宮を室内に請じ入れた。テラスに面するソファのある部屋に案内されて、改めて初対面の挨拶を交わした。そのとき初めて新宮は、相手の男が焼死者の夫であることを知った。部屋の一隅に真新しい仏壇があり、線香の香りが室内に漂っている。

「不躰に突然お邪魔いたしましたして申し訳ありません。これもなにかのご縁かとおもいます。ご焼香させていただければ幸いです」

(LBj9_00063 森村誠一『レッドライト』実業之日本社)

(20) は、初対面の相手の家を突然訪ねた自身の行為を「ぶしつけ」と表現している。見ず知らずの相手の家を訪問する場合、電話などでアポイントをとるといった事前に踏むべき手順があるが、それを踏まずに突然訪ねるという、自分勝手な行動をしたことを「ぶしつけ」と表している。

(c) 親しげにふるまう

さらに、ある人が他の人の都合や迷惑を考えずに親しげにふるまうこと（さま）を「ぶしつけ」と表現する場合について見る。

(21) 先日電話がかかってきたので取ってみたら開口一番「〇〇さんですよ?」「あなたは三十歳の独身男性ですよ?」不躰な質問に腹が

立ち「どうして答えなくちゃいけないんですか？」って聞いたら電話切られてしまいました。馴れ馴れしい女性テレアポに腹が立った事ってありません？

(OC11_00218 Yahoo! 知恵袋)

(21) は電話をかけてきた見ず知らずの相手が、開口一番「〇〇さんですよ？」「あなたは三十歳の独身男性ですよ？」と質問してきたことに「ぶしつけ」と感じている。ここでは、最初に名を名乗り、用件を告げるなどの本来踏むべき手順を踏まないというだけではなく、文中に「馴れ馴れしい」とあるように、知り合いでもないのに親しげにふるまうことを「ぶしつけ」と表現している。

(22) 放課後、真人が帰り支度をしていると、校庭の生徒たちの間をモーゼのように割って歩いてくる男がいた。「あ、お巡りさん」「金さんだ」周りから不躰に声をかけられても、いさめることもなくにこやかに会釈をする男―音見警察署刑事課一係勤務の、れっきとした警察官、金山四六だった。

(PB19_00514 矢崎存美『幽霊は行方不明』角川書店)

(22) は、子どもたちがある警察官に対し、「あ、お巡りさん」「金さんだ」のように親しげに声を掛けることを「ぶしつけ」と言っている。ここでは、子どもたちがある警察官に気安く声をかけるべきではないという筆者の考えから、そのような行為を「ぶしつけ」と表現していると考えられる。

上述のように、「ぶしつけ」はある人が他の人の都合や迷惑を考えずに言動すること（さま）を表す。「ぶしつけ」がこのような意味を表すことから、話し手／書き手が相手に負担をかけるような行為をする際、相手の負担を気遣い、相手の都合や迷惑を考えない自身の行為を詫げるのに「ぶしつけ」を使うこともある。

(23) 「どうやって、お調べになるの？」

「方法は、いろいろあるでしょう。バーテンの小橋さんに頼んで、それとなく聞き出してもらおうという手もあるし、タクシー会社にあたって、あの女性が、今夜、どこで車を降りたかを突きとめることもできますよ。帰宅したのなら、住所がわかります」

「日比野さん。ぶしつけなお願いですけど、名刺をいただけませんか？」

(Bn9_00121 和久峻三『不在証明は女たちのゲーム』徳間書店)

(23) では、「ぶしつけなお願いですけど」と言って相手（日比野さん）に名刺をくれるように頼んでいる。名刺は個人情報を書いてあり、それをくださいと頼むのは相手に負担をかける可能性がある。よって、相手に負担をかけるようなお願いをする際に「ぶしつけなお願いですけど」と前置きをし、申し訳ないという気持ちを表していると考えられる。

また次の(24)と(25)のように、一見、何が「ぶしつけ」であるのかが理解しにくい例もある。

(24) Excelについて…セルA1～G1にそれぞれ都道府県名・市町村名・住所・番地・号・マンション名・室号とわけて入力されている場合にそれらの全てを一つのセルにまとめて表示させるにはどうしたらよいのでしょうか？（中略）
ぶしつけな質問で大変申し訳ございませんがご教授の程何卒よろしくお願い致します。

(OC02_01180 Yahoo! 知恵袋)

(25) まったくもって不躰な質問ですが……………
財布のなかのお札、向きを揃えていますか？

(OC14_03278 Yahoo! 知恵袋)

(24)と(25)は「Yahoo! 知恵袋」でされた質問である。書き手は読み手に質問に答えてほしいと思っているのであるが、自身がした質問に答えるという聞き手の負担に対する配慮を示すのに、「ぶしつけ」を用いていると考えられる。

IV. まとめ

1. 「せんえつ」と「ぶしつけ」の意味

分析の結果、「せんえつ」と「ぶしつけ」の意味は次のように記述することができる。

・「せんえつ」

①ある人が自身の力の及ぶ範囲を越え、不要な言動をすること（さま）。その場合の「力の及ぶ範囲」には、(a) 社会や組織内で占める領域、(b) 専門領域、(c) 私的領域、がある。

②ある人が公の場や目上の人の前でふさわしくない言動をすること（さま）。この意味で「せんえつ」が使われる場合、謙遜して自身のことを低く言うことが多い。

・「ぶしつけ」

ある人が他の人の都合や迷惑を考えずに言動をすること（さま）。そのような行動の代表的なものとして、(a) 相手を困らせることをする、(b) 手順を踏まず、自分勝手にふるまう、(c) 親しげにふるまう、がある。いずれも礼儀・礼節に関わることである。また、相手の負担を気遣い、相手の都合や迷惑を考えない自身の行為を詫げるときに使うこともある。

2. 「せんえつ」と「ぶしつけ」の使い方

話し手／書き手が自身の言動について「せんえつ」あるいは「ぶしつけ」を使う場合、どのような状況で使用するが多いかについて説明する。

まず「せんえつ」は、公の場や目上の人の前で、何らかの言動をするときの前置きとして使うことが多い。言動をする前に「せんえつ」であると前置きすることで、自分自身や自身の行為を低めるとともに、聞き手／書き手に敬意を表している。

次に「ぶしつけ」は、目上の人や親しくない人に質問したり、お願いしたりするときの前置きとして使うことが多い。そのような言動をする前に「ぶしつけ」であると前置きすることで、自身の行為が相手の負担になるかもしれないことを気遣う気持ちを表すことができる。

このように、「せんえつ」と「ぶしつけ」の意味は異なっているが、公の場や目上の人の前などで自身の言動について「せんえつ」あるいは「ぶしつけ」と言

うことで、謙遜する気持ちを表すことが多いという点は共通している。

註・付記

- 1 本稿は、「言語学会第二十二回年次国際大会（2021）」でのポスター発表「『せんえつ』と『ぶしつけ』の用法」の内容を見直し、加筆修正をしたものである。

引用・参考文献

- 松村明（編）（2019）『大辞林 第四版』三省堂
山田忠雄・倉持保男・上野善道・山田明雄・井島正博・笹原宏之（編）（2020）『新明解国語辞典 第八版』三省堂

使用したアプリケーション

中納言 2.6.0 データバージョン 2021.03
<https://chunagon.ninjal.ac.jp/>

（2022年9月5日受理）